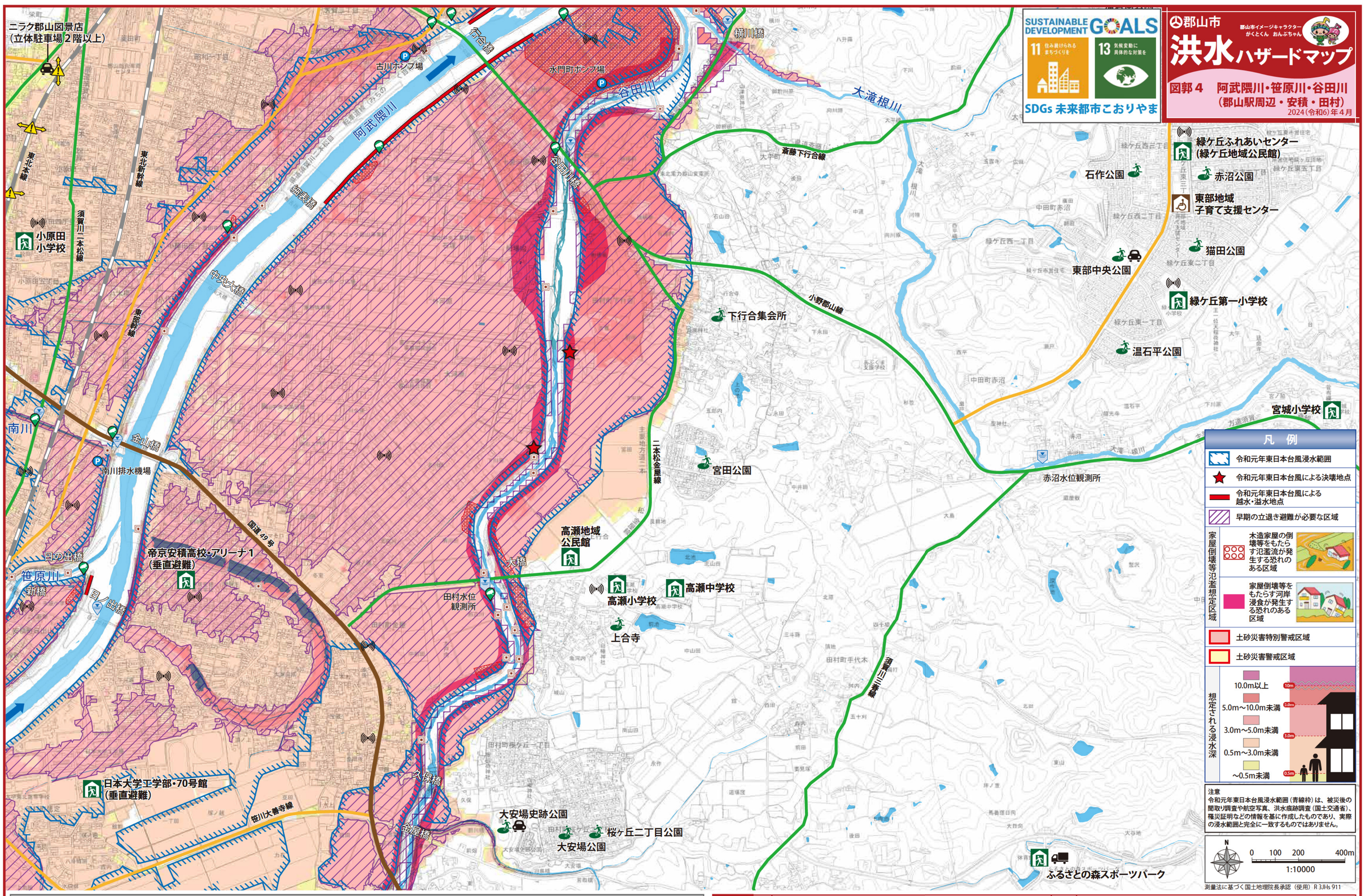
郡山市 洪水ハザードマップ

郡山市イメージキャラクター かくとくん おんぷちゃん

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を
SDGs 未来都市こおりやま

図郭４　阿武隈川・笹原川・谷田川（郡山駅周辺・安積・田村）
2024（令和6）年４月



凡例　指定避難所　指定緊急避難場所　福祉避難所　車中避難場所　車両避難場所　水位観測所　危機管理型水位計　雨量観測所　河川カメラ　防災行政無線　排水ポンプ　樋門・樋管　アンダーパス　跨線橋　高速道路　国道　県道　市道

自宅や行動範囲の水害リスク　浸水深　□ ～0.5m未満　□ 0.5～3.0m未満　□ 3.0～5.0m未満　□ 5.0～10.0m未満　□ 10.0m以上　マップを確認してチェックしましょう。

わたしの避難場所　❶ ＿＿＿＿＿＿　❷ ＿＿＿＿＿＿　自宅や行動範囲～避難場所までの経路を複数確認しましょう。

洪水ハザードマップとは

■ 郡山市洪水ハザードマップは、阿武隈川、五百川、藤田川、逢瀬川、谷田川、笹原川、桜川、天神川、及び八島川 流域に想定される最大規模の降雨（※）があった場合に、川があふれたり堤防が決壊したりすることで、浸水が想定される範囲や浸水の深さを示すとともに、氾濫によって家屋倒壊等のおそれがある区域などを表示しています。日頃の防災訓練や洪水時の安全で迅速な避難行動にご活用ください。

● 家屋倒壊等のおそれがある区域や、住宅の二階まで水没するおそれのある区域（浸水深3.0m以上）について、早急に立退き避難が必要な区域として表示しています。

● 地図に色がついていない場所でも、雨の降り方によっては浸水する可能性がありますので注意してください。（表示の浸水深よりも浸水の深さが大きくなる可能性もあります）

※想定される最大の降雨とは、現状の科学的な知見や研究成果等を踏まえ、ある程度の確かな見込みをもって想定し得る最大規模の降雨として設定しています。
図郭４掲載河川
阿武隈川及び笹原川（国管理：洪水予報河川）
２日間の総雨量 323mm（福島流域）令和2年3月27日指定
谷田川（県管理：水位周知河川）
24時間の総雨量 360mm（谷田川流域）令和3年11月26日指定

凡例の区分と避難行動

家屋倒壊等氾濫想定区域および想定される浸水が深い区域は早期の立退き避難が必要です。
自宅等の位置と凡例を確認し、洪水時の避難に備えましょう。

凡　例			求められる避難行動
早期に立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域	氾濫流	堤防決壊等に伴う氾濫流で木造家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
		河岸侵食	河岸侵食で家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
	家屋が水没するおそれのある区域		最上階が浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
その他の浸水想定区域			床上・床下浸水が想定されることから、水平避難（立退き避難）が望ましい状況を踏まえ、自らの判断により垂直避難（屋内安全確保）（※）でも良い。
浸水想定区域外			浸水想定区域内の住民等が避難してくるため、避難の手助けを行う。自らの判断により垂直避難（屋内安全確保）（※）でも良い。

※垂直避難（屋内安全確保）を行う上での条件
①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない　②浸水深より居室は高い
③水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

郡山市で発生した主な水害

昭和61年8.5集中豪雨
水門町付近

床上浸水	1,321件	避難所開設	12箇所
床下浸水	1,386件	最大避難者	1,199人

平成23年9月台風第15号
芳賀付近

床上浸水	1,510件	避難所開設	32箇所
床下浸水	157件	最大避難者	1,763人

令和元年東日本台風
安積町付近

（R3.3.31時点）

床上浸水	6,814件	避難所開設	42箇所
床下浸水	930件	最大避難者	3,973人

アンダーパスとは
アンダーパスは、周辺の地盤より低いため、浸水危険性の高い場所となります。もしもの時に備えて、迂回路を確認しておきましょう。冠水時には利用しないでください。

洪水ハザードマップの活用方法

ステップ１　自宅付近が浸水想定区域内か確認しましょう。
□ 早期立退き避難が必要な区域か？
□ よく行くところも確認しよう

ステップ２　指定避難所及び避難経路を事前に確認しましょう。
□ 河川や水路の近くを通らないか？
□ アンダーパス（地下道）を通らないか？

ステップ３　実際に避難経路を歩いて危険な場所がないかを確認しましょう。
□ 路肩の状況や側溝、マンホールの位置など
□ 土砂災害警戒区域はないか？

ステップ４　実際に歩いた情報をまとめ、わが家の避難地図を作りましょう。
□ いくつかの避難経路を準備しましょう
□ 緊急時の集合場所等を決めておきましょう

タイムライン防災（警戒レベルとみなさんがとるべき避難行動）

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わりました。

◎ 災害が発生する前に、タイムラインを確認して早いうちから避難の準備をしましょう。
警戒レベル３又は警戒レベル４で必ず避難しましょう。
警戒レベル５は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベルの発令を待ってはいけません。

警戒レベル	状　況	避難情報（市が出す情報）	みなさんがとるべき行動
警戒レベル5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ 近隣の建物上階へ移動
～<警戒レベル４までに必ず避難！>～			
警戒レベル4 全員避難	災害のおそれ高い	避難指示	危険な場所から全員避難
警戒レベル3 高齢者等は避難	災害のおそれあり	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ※警戒レベル３は高齢者だけの情報ではありません。「高齢者等」には障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。
警戒レベル2	気象状況悪化		自らの避難行動を確認
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	台風情報	災害への心構えを高める

河川水位や雨の情報（国土交通省・気象庁・県が出す情報）		
	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
～<警戒レベル４までに必ず避難！>～		
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	－
警戒レベル2	洪水注意報	大雨注意報
警戒レベル1	早期注意情報	早期注意情報

河川の水位や雨の情報は国土交通省や気象庁のウェブサイトから確認できます。
キキクル（気象庁）　防災ポータル（国土交通省）

郡山市からの情報伝達とさまざまな情報の入手先

わが家の防災ハンドブックも活用しましょう！

郡山市では、市内の災害情報や避難情報などについて、多様な手段で市民のみなさんに、いち早くお知らせします。
また、気象庁や国土交通省、福島県の提供する気象情報や防災情報なども確認し、災害に備えましょう。

市からの避難情報・国や県からの洪水予報・気象情報等　情報発信

郡山市から発信する避難情報等

防災ウェブサイト
防災防犯情報として、市や関係機関が発信する気象情報、災害情報、国民保護情報、避難情報、お知らせを掲載する他、防災に役立つ各種情報リンクを掲載しています。

メールマガジン
防災ウェブサイト内の「防災メールマガジン」から登録いただくことができます。
郡山市防災メールマガジン　検索

SNS
フェイスブック、X（旧ツイッター）に登録されている方が「いいね！」や「フォロー」していただくことで利用できます。
フェイスブック　X（旧ツイッター）

防災行政無線
市内の小中学校や公民館、公園などに設置した屋外スピーカーから放送を流します。
ただちに避難してください！

電話ガイダンス
災害情報を新着順に電話でお知らせします。
災害情報専用電話　☎0120-131-963（フリーダイヤル）

VACAN
各避難所の位置や開設状況、リアルタイムの混雑状況を確認できます。

国・県・報道機関からの情報

気象庁（福島地方気象台）
天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。

国土交通省　川の防災情報・川の水位情報
雨量・河川水位、河川CCTVカメラによる河川の状況が確認できます。
川の防災情報　川の水位情報

テレビ（NHKデータ放送）
ご家庭のテレビで確認できます。
リモコンｄボタンを押すとＬ字画面に切り変わります。

緊急速報メール
NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話に送信されます。
※情報は発信時点で市内にいる方に配信されます。また、機種により、設定が必要なものや受信できないものがあります。

コミュニティFM放送
「郡山コミュニティ放送（ココラジ）」から放送します。
周波数・・・FM79.1MHz
※番組放送中でも強制割込みで災害情報をお知らせします。

スマ保災害時ナビ
災害時に役立つスマートフォン用アプリです。現在地から避難場所までのルートを表示したり、避難場所の住所などの詳細情報を確認することができます。

積極的に情報収集！　情報収集　郡山市民のみなさん

日頃からの備え

わが家の防災ハンドブックの「郡山市マイ・タイムライン」や「非常用持出品・備蓄品」を準備しましょう。

◎いざという時のために、日頃から最小限の非常用持出品を用意し、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しましょう。
◎普段から洪水時の避難所等の位置を確認しておきましょう。
平常時から、お住まいの地域の浸水が想定される範囲を確認し、自宅や職場などの最寄りの避難所等を確認しておきましょう。
◎避難ルートを記入しておきましょう
避難所等を確認したら、浸水が予想される道路を通らないように避難ルートを検討し、洪水ハザードマップに自宅等から避難所等へ行く避難ルートを記入しましょう。記入した避難ルートは、平常時に実際に歩いてみて、危険な個所がないか確認しておきましょう。
◎地域の防災訓練に参加しましょう
地域の防災訓練に積極的に参加するとともに、各種ハザードマップを参考に自分自身の安全な避難所等、避難ルートを定期的に確認する避難訓練を行いましょう。
◎新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた分散避難をしましょう
避難所における３密（密閉、密集、密接）状態を防ぐために、避難所への避難に限らず、分散避難の検討をしましょう。

備蓄すべき食料・飲料水は、最低３日（推奨１週間）分といわれています。

緊急時の連絡先

災害の内容	関係機関等	電話番号
災害に関すること	郡山市防災危機管理課	024-924-2161
道路の冠水、崩壊、土のうの手配	郡山市道路維持課	024-924-2301
河川のあふれ、護岸の崩壊、洪水ハザードマップに関すること	郡山市河川課	024-924-2701
下水道のあふれ	郡山市上下水道局 下水道保全課	024-932-7663
内水ハザードマップに関すること	郡山市上下水道局 経営管理課	024-932-7644
阿武隈川に関すること	福島河川国道事務所 郡山出張所	024-943-6591
五百川、藤田川、逢瀬川、谷田川、笹原川、桜川、天神川、八島川等に関すること	福島県県中建設事務所 管理課	024-935-1455

郡山市の指定避難場所

避難する場所や避難ルートを事前に確認しましょう。

洪水ハザードマップには、緊急的な避難場所もあわせて示しています。指定された場所への避難が間に合わない場合や一時的に状況を把握したい場合など、緊急時にはそちらに避難してください。

指定避難所	避難者が一定期間滞在するための施設
指定緊急避難場所	避難者が一時的に避難するための場所
福祉避難所	介護の必要な高齢者や障がい者などの避難者が一定期間滞在するための施設
車中避難場所	車で避難する方を対象にした車の駐車場所
車両避難場所	浸水想定区域内等の事業者の車両を避難させるための駐車場所

洪水ハザードマップホームページ
郡山市の洪水ハザードマップホームページでは、ハザードマップのダウンロードや要配慮者利用施設の確認ができます。
https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/126/2177.html

郡山市地理情報システム
郡山市地理情報システムでは、洪水浸水想定区域内にある土地についてピンポイントで想定される浸水深を調べることができます。
https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/22/1161.html

災害時には、個々がおかれた状況に応じて、自らの判断で臨機応変に避難行動を取りましょう！

発行元
郡山市　建設部　河川課
〒963-8601
福島県郡山市朝日１丁目２３番７号
電話番号　024-924-2701
ファックス番号 024-931-5243
E-mail：kasen@city.koriyama.lg.jp